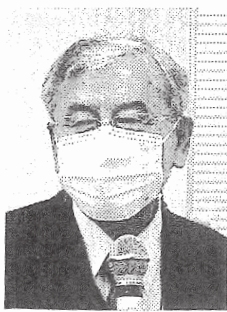


規定・基準の改定を

東検協と継検協

東京都鉄筋継手検査機関連絡協議会（安藤純二会長）と鉄筋継手検査業協会（同）は、東京都千代田区のTKPガーデンシティ竹橋で総会を開き、2021年度の活動報告や22年度の予算と活動計画などを報告した。

あいさつに立った安藤会長は「現場から見ても必要とされる検査・試験の充実のための規定・基準の改定をお願いしなければならぬ。使命である建物の安全・安心を守るだけでなく、市場開拓によ



り働く人の生活水準の向上を目指し、若い人が入りたいと思う試験・検査業界を築いていきたい」と語った。写真。

鉄筋検査の団体が今後取り組む

べき項目として、鉄筋継手の検査の重要性を訴えること、公共工事標準仕様書の書かれたガス圧接部の外観検査の全国的な定着を目指すことなど挙げた。（6・14）